

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校音楽鑑賞教室				所管	教育委員会 指導課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	68	計画事業名	子供の文化教育の充実			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出 [小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり [施 策] ①文化に触れる機会の充実				[事業開始]	年度			
	根拠法令等	その他	[法令等名]	学習指導要領			[終了予定]	- 年度		
	事業対象	直接の対象 : 区立中学校 最終的な対象 : 上記第1学年生徒								
	事業目的	区立中学校の生徒がオーケストラの演奏を鑑賞することにより、情操豊かな生徒の育成及び鑑賞態度を身に付けさせる。								
	事業内容 [29年度]	東京藝術大学管弦楽研究部オーケストラによる演奏会を開催し、鑑賞する(学校学習指導要領の音楽「鑑賞」に位置付けられている) (会場) 東京藝術大学 奏楽堂								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
	補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		達成率	
	活動指標	開催回数	回	1	1	1	1	1	100.0%	
	成果指標	参加生徒数	人	777	772	770	733	777	94.3%	
	決算額 (単位: 千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)			160		178		168	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			111		106		82	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			969		972		972	
		総経費			1,240		1,256		1,222	
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0	
一般財源 (区負担額)			1,240		1,256		1,222			
前回評価から29年度に改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	教育課程に位置付けるとともに生徒の情操教育の推進を目的とした事業である。通常の授業では触れることのできないより質の高い芸術に触れることで生徒の豊かな感性を養う機会となっている。							
	効率性	3	演奏は芸大フィルハーモニア、会場は東京藝術大学 奏楽堂にて実施している。区内の人材・施設を活用することにより児童の移動等にかかる時間や負担を軽減することができており効率の良い運営となっている。							
	手段の適切性	3	東京藝術大学 奏楽堂を会場とする利点を生かし、パイプオルガンを使用した曲目をプログラムに入れている。							
目的達成度	3	対象となる生徒ほぼ全員に鑑賞機会を提供することができている。生徒にとってオーケストラ演奏もさることながらパイプオルガンの演奏を聞く機会も少なく貴重な体験であり、情操を育む本事業の目的にかなっている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
オーケストラ鑑賞という貴重な体験ができる機会を提供できている。さらに、興味を持って参加できるよう、しおりにオーケストラの配置や使う楽器を掲載しオーケストラ演奏を身近に感じることができるよう工夫している。演奏は東京藝術大学に依頼しており連携相手として申し分ない。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		